

看護学雑誌 第54巻 総目次

1990年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●特集

明日の看護を見つめて

- [対談]問題山積み、明日の看護——21世紀待ったなし！：福井次矢・川崎美佐子，1，26.
在宅ケア体制の確立を：有馬千代子，1，34.
小児専門看護婦の育成を願う：江上芳子，1，35.
看護士の明日：濱上末男，1，36.
痛みのケアで望むこと——専門的知識と技術を普段着の対応で：平賀一陽，1，37.
生活の広がりにつながる看護を：堀越栄子，1，38.
老健施設の“ライフエイド”：細井恵美子，1，39.
「魅力的な」看護婦さん：一柳邦男，1，40.
ターミナルケアにロマンをもとめて：石垣靖子，1，41.
家事援助への高い評価を：加瀬裕子，1，42.
看護現場に言語療法を引きずり込んで：萱原裕子，1，43.
「寝たきり老人」をなくすために：川面史郎，1，44.
教育現場からもの申す：川野雅資，1，45.
車椅子に想う：川阪夫佐子，1，46.
看護婦不足解消を期待して：近藤慶二，1，47.
看護と介護の明日：是枝祥子，1，48.
ICM大会に臨んで：前原澄子，1，49.
理想の地域医療を夢見て：松橋文子，1，50.
個性豊かな看護の新時代を！：宮子あずさ，1，51.
看護婦に望むこと3つ：沼野尚美，1，52.
保健と医療の真の連携を目指して：斎藤婦佐子，1，53.
産むことは生きること：菅沼ひろ子，1，54.
福祉施設の中の医務室：高井寛，1，55.
「今時の学生」であっても：土屋三千代，1，56.
明日の看護を見つめて：都留春夫，1，57.
看護に期待されるもの：矢野正子，1，58.
医療の年を迎えて——お年寄りの医療を守る立場から：若月健一，1，59.

看護の学会が増えてきた!!

- [インタビュー]看護の学会に期待するもの：竹内孝仁，2，130.
学会発表をどうする!?：看護学雑誌編集室，2，138.
せっかくの研究だから、効果的に訴えたい——学会発表体験記：安藤秀樹，2，142.

看護の学会がこんなに!?——ミニ看護学会・専門看護学会紹介：看護学雑誌編集室，2，150.

病院を飛び出した看護婦たち

- 私が食と健康相談の店を始めたわけ——手応えのある保健婦活動を求めて：加藤ヒロ子，3，234.
精神科病棟の開放化運動を経て特養へ：白柳マツエ，3，241.
一旦は捨てたつもりで看護職の免許——自分らしさを生かし続けていくために：渡辺由佳里，3，248.
生活の中の看護を求めて——在宅看護の夢に賭ける：山田京子，3，254.
出会いを通して広がる世界：米田和美，3，260.

いつまでもフレッシュで！——ナース自身の健康管理

- 看護婦と健康——今、フレッシュなあなたに：青山ヒフミ，4，338.
私たちの健康管理——“看護婦の不養生”にならないために／私たちの健康訓：笹倉しのぶ・大島彩子・寺田恵子・西岡通宏，4，343.
私たちの健康管理——“看護婦の不養生”にならないために／低血圧でもがんばる方法：岡上由紀，4，344.
私たちの健康管理——“看護婦の不養生”にならないために／「夜勤」から健康を守るには：春名佐和枝，4，345.
私たちの健康管理——“看護婦の不養生”にならないために／元気印の私のやり方！：玉置玲子，4，347.
「健康な」人間関係を維持するには——ストレスと上手に付き合う法：杉野元子，4，350.
私の健康維持法——落ち込み回復3段階：村上文子，4，355.
私の健康維持法——無意識の生活リズム：小野寺祐子，4，357.
私の健康維持法——自分自身をよく知ること：山田香百合，4，358.
私の健康維持法——笑うことを忘れない：多川晴美，4，360.
私の健康維持法——健康はストレス発散から：有路早苗，4，361.

患者の問題？看護婦の問題！

患者の問題と看護婦の問題：保坂隆，5，442.

[事例1]せん妄を精神病と見誤ったケース：広常秀人，5，447.

[事例2]痴呆と仮性痴呆を見極める：春日武彦，5，451.

[事例3]躁防衛としての癌患者の明るさ：渡辺俊之，5，455.

[事例4]危機状況にある家族への援助：篠原隆・高沢昇，5，459.

[事例5]うつ病患者を自殺に追い込んだ“励まし”：佐々木高伸，5，462.

[事例6]“看護婦の問題”としての“逆転移”：保坂隆，5，465.

リハビリテーション看護を見直そう

リハビリテーション看護 その実践概念からの位置づけ：竹内孝仁，6，546.

リハビリテーション看護とは何か：落合芙美子，6，551.

私たちにできるリハビリテーション看護——一般病院でのリハビリテーション看護：田中靖代，6，555.

[座談会]リハビリテーションと看護の関係を探る：窪田静・安永道生・是枝祥子，6，559.

精神保健法施行2年を迎えて

[対談]精神科医療・看護の新たな展開を求めて——精神保健法をめぐる諸問題と展望：浅井邦彦・外口玉子，7，650.

精神衛生法から精神保健法へ——精神科医療・看護の歩みを概観する：櫻庭繁，7，660.

精神保健法の前と後——病棟看護はどう変わったか：屋良節子，7，668.

障害者の社会復帰を支える訪問看護の役割——精神科病院での4年の体験の中から：小倉あき江・藤本百代，7，673.

障害者とともに暮らす社会をめざして——精神障害回復者の社会復帰事業を試みて：金子鮎子，7，678.

精神保健法の光と影——患者が見つめた看護者群像：佐々木信雄，7，683.

[研究]精神障害者の自立を支える看護——事例を通しての考察：森千鶴，7，689.

呆け老人・介護家族とともに10年——「呆け老人をかかえる家族の会」の歩みに学ぶ

[座談会]「呆け老人をかかえる家族の会」10年の歩みを振り返って：高見国生・中島紀恵子・三宅貴夫・二宮敏子，8，754.

「家族の会」に理解を：高見国生，8，764.

支部活動レポート／もしもし……こちら「ぼけ老人てれほん相談」——東京支部における電話相談活動：笹森貞子，8，770.

支部活動レポート／社会福祉協議会とタイアップして「ぼけ相談室」の輪を広げる：田中まさ子，8，777.

支部活動レポート／たった一人の親だから……人間らしく生きていけるように——家族の会富山支部のあゆみ：勝田登志子，8，782.

支部活動レポート／「稲毛ホワイエ」でのボランティアによるデイケアの取り組み：二宮敏子，8，789.

呆け老人のケアを通して介護と看護を考える——老人保健施設「ぬくもりの里」での1年の経験から：細井恵美子，8，794.

看護理論と看護過程

看護過程における看護理論の役割：松本光子，9，858.

アメリカで看護過程を学んで——実践的，学問的な訓練の徹底：石原逸子，9，867.

総合診療から見た看護と看護理論：箕輪良行，9，873.

日本で行なわれる国際看護理論家会議：看護学雑誌編集集，9，878.

患者の死後，看護婦は……

[対談]患者の死，それはかかわった人の中に死者の心が生き始める時——看護婦の役割もこの視点から：川島みどり・徳永進，10，962.

死後の処置マニュアル：川島みどり編，10，970.

患者の臨終，家族へのフォロー／あの母親たちは，今どうしているのだろうか：佐藤信子・伊藤律子・古市公子・小林好子，10，976.

患者の臨終，家族へのフォロー／家族が悔いのない看取りをできるように——Sさんの死を通して：松浦千恵子，10，979.

患者の臨終，家族へのフォロー／人間らしい，安らかな臨終を迎えられるように——末期癌患者とのかかわりを通して学んだこと：鹿野卓子，10，982.

家族の思い／「ふだん着の看護婦さん」でいてほしい：松島洋治，10，985.

家族の思い／感謝の気持ちを握手に込めて：吉田陽子，10，987.

米国での死の看取り——ホスピススタッフの家族へのかかわり：的場元弘，10，989.

新しい時代の看護と情報

新しい時代の看護と情報システム：宇都由美子，11，1066.

看護情報体系化の意義と今後の可能性——鹿児島大学医学部附属病院看護情報システムの新段階：宇都由美子，11，1069.

看護システムの構築に携わって：山崎かずよ・時任真代・小田原涼子・田中律子，11，1075.

医療用パソコン通信システム「MEDINET-P」の活用：矢野喜代子・山田恒夫，11，1083.

「MEDINET-P」の会議室「NURSE」による情報交換

と看護学習：土田富子，11，1090.

療養環境を考える——人と人，人と設備のインターフェイスを求めて

療養と看護の環境——病棟・病室環境の計画課題をめぐって：上野淳，12，1170.

療養環境をデザインする——自閉症者施設あさけ学園の設計コンセプト：林章，12，1178.

病院新築計画への看護職の参加：内田卿子，12，1184.

自助環境をめざすデザイン——トイレ，排泄問題を通して：園尾義之，12，1189.

療養者と介護者にやさしい療養環境——生活支援機器の活用による環境づくり：舟木美砂子，12，1194.

●特別記事

[第72回医学書院看護学セミナー講演録]激動の時代を生きて——私が歩んだ昭和の看護史：花田ミキ，1，60.

[第72回医学書院看護学セミナー講演録]今，救急看護に求められているもの——救命救急センター10年の経験から：中村恵子，2，161.

特別寄稿／尼崎私立病院協会婦長部会のあゆみを振り返って：川口ハツエ，3，267.

訪問看護の光と陰：川崎美佐子，4，363.

[第76回医学書院看護学セミナー講演録]看護のアートとは——看護の原点と先進技術：日野原重明，5，468.

看護婦と医師との連携：レベッカ C. クーン，6，566.

痴呆性老人のケアのポイント——病棟看護を中心にして：五島シズ，9，880.

●ベッドサイドの看護

死にゆく患者の心理に関する一考察：加藤由美子，2，173.

糖尿病のコントロール指導を通して精神的安定を得た事例：山崎みつよ，3，274.

急に無口になった末期癌患者の事例に学ぶ——患者とその家族関係を知ることの重要性：黒田晶子・面田治子・井上真利子・藺智子・後藤恵子・井上秀美・植林みどり，4，378.

ターミナルケアにおける患者と家族へのかかわり——遺族訪問を通して3事例に学ぶ：藤田千尋・妹尾啓子・中山美由紀・竹内千代美・三宅輝美・金田民代，11，1103.

●研究と報告

小児肘関節抑制装具の工夫：吉田真理子・寺脇世利子・餅麻美・依岡由喜・成田良子，1，70.

夫婦の役割に関する意識調査から：大内直美・工藤アキ子・大田裕子・小原桂子・尾山真理子・鈴木三郎，4，383.

日常診療におけるフェイル・セイフ・システムの実践：千葉久美子・萩原尚美・原孜，5，481.

病人の心理を理解すること：齋藤道代，6，579.

尿失禁患者への看護的アプローチを考える：三輪貞子・広瀬真理子・宮下紀子・富永悦子・福田幸代・山口小百合・桑田喜代美・森岡絹恵，6，585.

患者および家族が満足するターミナルケアの要件——神経疾患患者家族へのアンケート調査より：西岡利恵・真屋仁美・加地美由紀・妹尾洋子・三谷史子，9，890.

入院患者の日常生活援助をチェックアップ：高須賀久美子・山本美保・宮岡由美・大成まゆみ・白石美鈴・仙波千恵子・渡邊照代・宮崎晴子，9，895.

日本とフランスにおける看護のアイデンティフィケーションの比較：原山哲・Maryse Petit，10，993.

看護学生と医学生福祉と健康に関する意識の差：松原勇・鏡森定信，11，1110.

末期患者の家族に行なう看護面接の方法と効果：岸本みくに・大滝ひろみ，12，1207.

●学生の広場

「ターミナル・ケアを考える」——肺癌末期患者とのかかわりの中で学んだこと：堀尾初美，3，278.

疼痛のある悪性リンパ腫患者の看護——マッサージがもたらしたもの：佐藤智子，4，374.

配偶者の死に適応していく心理過程を基に危機介入を考える：佐野繁子，6，570.

父親から腎提供を受けた移植患者への援助——術前術後の不安に働きかけて学んだこと：成岡弘乃・真部昌子，10，1000.

病院火災に関する看護学生の意識：安澤哉子・浅海佳子・新田圭子・安場紀子・横部淑美，11，1089.

患者を通して学んだ看護ケア：山田美紀子，12，1213.

●症状の起こるメカニズム[観察のポイント]：橋本信也

腰痛，1，4.

関節症状，2，108.

胸痛，3，212.

不整脈，4，316.

ショック，5，420.

咳と痰，6，524.

呼吸困難，7，628.

悪心・嘔吐，8，732.

吐血・下血，9，836.

下痢，10，940.

腹痛，11，1044.

腹部腫瘍，12，1148.

●ケーススタディ[ナースのための心理的アプローチ]

「点滴がなくなって心配だわ……」——狭心痛を誘発したUさんの〈不安〉：長谷川朝穂・矢原明美，1，10.

「落ち着かなくて，どうしたらいいか分からないんです」——ステロイド剤投与中に〈気分易変〉を呈した

Bさん：篠原隆・本間信・石垣キヨ子・荒巻洋子，
2，114.

「脳が死んでいても私の子ですからね！」——脳死状態に陥ったEさんに付き添う母への〈家族援助〉：広常秀人・今立由美子・寺師栄，3，218.

「あの注射さえしなければ，こんなことには」——突然に下半身麻痺を呈した〈クライシス〉のSさん：保坂隆・岡元久美子・清野幸子・加藤千穂子，4，322.

「私ってダメな人間？」——〈神経性食思不振症〉のAさん：東方田芳邦・野村昭太郎・大羽こずえ・北垣和枝・矢野貞子，5，426.

「発作です！発作が来ました！」——SLEによる〈症状精神病〉のCさん：小田尊之・佐々木高伸・中絵由美・田坂嘉子，6，530.

Am I dying? ——異国で臨終を迎えたFさんの〈死のプロセス〉：佐々木高伸・浜田博子・中村玲子・国中一子・岩田裕子，7，634.

「このバカ！何するん」——単純ヘルペス脳炎による〈器質性精神病〉のOさん：長田昌士・佐々木高伸・中絵由美・田坂嘉子，8，738.

「どうせ私は癌で死ぬんです」——癌性疼痛の悪化に伴うKさんの抑うつと〈自殺企図〉：森岡壮充・中野真寿美・田村幸美，9，842.

「嘘だと言われたんですよ！でも本当に痛いんです」——〈心因性疼痛〉に悩むMさんへの絶食内観療法：堀井茂男・大河原靖子・糸川時子・渡辺都貴子・石黒則子，10，946.

「もう看護婦なんてやめたい」——燃え尽きてしまった〈バーンアウト〉のKさん：保坂隆，11，1050.

「看護婦さんばくと結婚してください」——入院中にナースに恋愛感情を抱いたBさん：保坂隆，12，1154.

●こんな時のカウンセリング：白井幸子

自分の命を粗末に扱う高田さん——乱れた療養生活を送る患者への対応，1，88.

赤ちゃんを亡くした時——水頭症の子供を失った母親への対応，2，188.

赤ちゃんを亡くした両親への対応——流産・死産・出生直後の死に対して，3，294.

先天奇形のある子供を持つ両親への援助，4，390.

患者が医師である場合，5，494.

末期医療の現場で“逃げ”を感じた時，6，598.

死の不安におびえる患者への援助，7，702.

死を目前にいら立つ患者への援助，8，806.

障害の受容と自立への援助，9，910.

怒りをコントロールできないドクターへの対応，10，1012.

患者とその家族に病識を持たせる努力を，11，1116.

心筋梗塞の患者への対応——再発作の不安に対して，12，1222.

●米国の医療現場見てある記

Forbes Hospice(ピッツバーグ)①アメリカがたどり着いたホスピス：的場元弘・中山康子・田中亮，4，368.

Forbes Hospice(ピッツバーグ)②ホスピスにおけるナースの役割：中山康子・的場元弘・田中亮，5，490.

Forbes Hospice(ピッツバーグ)③ホスピススタッフのストレス：的場元弘・中山康子・田中亮，6，594.

Forbes Hospice(ピッツバーグ)④アメリカのホスピスから学んだこと：的場元弘・中山康子・田中亮，7，698.

New York ①「オンコロジー」って何？——癌治療，その他よろず引き受けます：的場元弘・Franklyn A. Shaffer，8，802.

New York ②五番街エンバイヤーステートビルのホスピス：的場元弘，9，904.

●看護ザワ－るど：聞き手／ワット隆子

Kathryn Farrow さん(イギリス)，4，398.

Gabrielle Combres さん(フランス)，5，502.

Linda M. Murakami さん(アメリカ)，6，606.

Kirsten Kjellberg さん(デンマーク)，7，710.

Oliva C. Shinohara さん(フィリピン)，8，814.

Nancy DeVries さん(アメリカ)，9，918.

Carme Ribera さん(スペイン)，10，1020.

Susanne Henriksen-Takahashi さん(カナダ)，11，1124.

Jane Flynn さん(イギリス)，12，1230.

●忍冬のように[私が生きているということ]：水上學

私の道のり，4，394.

看護婦になる決意，5，498.

新米看護婦の日々，6，602.

ひどく疲れて……，7，706.

悲喜こもごもの新婚生活，8，810.

回復の特効薬は仕事，9，914.

ついに重大な症状が，10，1016.

健康が欲しい，11，1120.

もう一度白衣姿が見たいと励まされて，12，1226.

●思い出すけっち[あの人あの時あの言葉]

看護婦への軌道：前田アヤ，1，22.

ケアを受ける人の思い——病みてみればひとしおに：廣瀬喜美子，2，126.

私の看護学入門：大嶽康子，3，230.

心に残る3冊の本：早川かつ，4，334.

鎮魂——此岸からの彼岸へのかけ橋：加藤政子，5，438.

Oさんとの出会い：堀川ミツエ，6，542.

母子の命を守る喜び：笠原トキ子，7，646.

患者さんに励まされて：山下かしゑ，8，750.

保健と福祉は一本の縄：金子光， 9， 854.
来し方を思う：石本茂， 10， 958.
グアテマラの子供たち：坂本元子， 11， 1062.
若き癌患者の残したメッセージ：平塚陽子， 12， 1166.

●続・医のなかの想い[ドクター“のぞみ”の院内日誌]：小笠原望

再び，高松から， 4， 408.
婦長さんの決断， 5， 512.
にわか“主治医”， 6， 616.
心身症の先輩として， 7， 720.
大事なものはこれから， 8， 824.
大変だ，お尻に火がついた， 9， 928.
田辺君は燃え尽きた(1)， 10， 1030.
田辺君は燃え尽きた(2)， 11， 1134.
果たさなかった約束， 12， 1240.

●心をつなぐ虹の橋：芹沢茂登子

私の人生交響曲， 4， 406.
出会いの言葉の大切さ， 5， 510.
私の注射恐怖症， 6， 614.
不信感を起こさせない聴き方， 7， 718.
恥ずかしい気持ちへの配慮， 8， 822.
健診のフォローは十分に， 9， 926.
内診台， 10， 1028.
働き続けて， 11， 1132.
心の病と家族， 12， 1238.

●それいけ！フレッシュナース[3 階病棟の 12 か月]

誰の時間を重要視？：田中英子・藤田梯子・西元勝子， 1， 80.
記録はホントに事実か：勝田仁美・藤田梯子・西元勝子， 2， 184.
「言葉遣い」の重みを知ろう：村上智香・藤田梯子・西元勝子， 3， 290.
頼りなさは真剣さでカバー：谷端千代美・藤田梯子・西元勝子， 4， 402.
私が担当ナースです：田中英子・藤田梯子・西元勝子， 5， 506.
便秘させるのも看護婦の恥：勝田仁美・藤田梯子・西元勝子， 6， 610.
患者さんには耳障り：村上智香・藤田梯子・西元勝子， 7， 714.
付き添えば疲れるんです：山本絹子・藤田梯子・西元勝子， 8， 818.
患者の味方はナースだけじゃない：山本絹子・藤田梯子・西元勝子， 9， 922.
何をどう報告する？：谷端千代美・藤田梯子・西元勝子， 10， 1024.
退院したらこっちのもの？：村上智香・藤田梯子・西元勝子， 11， 1128.
癌患者の心の声が聞こえますか？：勝田仁美・藤田梯子・西元勝子， 12， 1234.

子・西元勝子， 12， 1234.

●いたいものつらいのとんでいけ～[みつこさんの闘病絵日記]：ふくしまみつこ

再発，転移あっちいけ～！の巻， 1， 100.
ガンのセルフコントロールの巻， 2， 204.
生きる義務の巻， 3， 308.
この“想い”とどけ!!の巻， 4， 412.
温泉は気持ちイイの巻， 5， 516.
心の叫びが聞こえないの巻， 6， 620.
カラダの悩み，心のなやみの巻， 7， 724.
だからフリンはできませんの巻， 8， 828.
輝く笑顔の手術記念日の巻， 9， 932.
なくしたものを恋しがる時の巻， 10， 1036.
あれから3年たちましたの巻， 11， 1136.
そうだったらいいの巻， 12， 1242.

●NURSING THEORY [看護理論ってなあに？]

『ロイ看護論』を読む「7」——小児看護とロイ看護理論：津波古澄子， 1， 84.

●ワットさんのパーシエントロジー[今、患者が主役の時代]：ワット隆子

看護は感性， 1， 76.
NURSES, BE AMBITIOUS[1]， 2， 180.
NURSES, BE AMBITIOUS[2]， 3， 286.

●死の淵からの生還[心筋梗塞患者の手記]：林三夫

ここは“棺桶”の中？——ICU にて， 1， 96.
生の実感——ICU から一般病棟へ， 2， 196.
今回の体験を通して——がんばれ！看護婦さん， 3， 302.

●リアさんの見た日本の看護：リア・ケネア

エチオピアって知ってますか？， 1， 92.
日本で感じた文化の違い， 2， 192.
看護のこころと真の国際化， 3， 298.

●BOOK REVIEW

私たちは生きる——乳がん 37 人の体験(ワット隆子編)：立崎洋子， 1， 74.
遊びリテーション——障害老人の遊び・ゲームの処方集(竹内孝仁・三好春樹他著)：中島紀恵子， 2， 200.
家で死ぬ——柳原病院における在宅老人看護の 10 年(大沼和加子・佐藤陽子著)：細井恵美子， 2， 201.
ナイチンゲールって，すごい(群ようこ・宮迫千鶴他著)：山本和子， 2， 202.
ナーセスポケットマニュアル——与薬・注射と輸液(Jean Robinson 編，山門實・原和弘・輸湖史子訳)：飯田裕子， 2， 203.
看護学生のための日本看護史(看護史研究会編)：金井一薫， 3， 306.

がん患者の憧れ——ホスピスってどんなところ？(ワット隆子編)：石垣靖子，4，410。
 リハビリテーション機器——適応と選択(加倉井周一編)：遠藤信子，5，514。
 赤ひげは存在するか——地域医療—現場からの報告(全国国民健康保険診療施設協議会編)：葭田美知子，5，515。
 キチンドリンカー 無力からの回復(橋本明子著)：藤井千恵子，6，618。
 今日の外来診療(上林茂暢・三浦聡雄他編)：藤田厚子，7，722。
 閑かなる死(黒柳弥寿雄著)：油谷和子，8，826。
 神経因性膀胱の診断と治療 第2版(服部孝道・安田耕著作)：西村かおる，9，930。
 水引き草の詩——ある看護教師の闘病記(藤原宰江著)：前田志名子，10，1032。
 病いの戦後史(向井承子著)：川島みどり，10，1033。
 居直り脳卒中(横田整三著)／脳卒中リハビリテーションへのチームアプローチ法(Margarett Johnstone 著，平井俊策監訳)／脳卒中—患者と家族の手引(Janice Frye-Pierson・James F. Toole 編著，藤島正敏・長尾哲彦訳)：田中靖代，10，1034。
 新刊紹介／「准看護婦の“准”ってなあに」「痛みとのかたかい」「1日だけのナイチンゲール」，11，1114。
 メメント・モリ 私の食道手術体験(後藤明生著)：内布敦子，11，1138。
 図解トランスファーテクニック(Tony Pelosi・Margaret Gleeson 著 千野直一監訳)：後藤貞子，11，1139。
 決断——生体肝移植の軌跡(永末直文・他著)：兼松百合子，12，1218。
 死に向かって生きる——末期癌患者のケア・プログラム(Cicely Saunders・Mary Baines 著，武田文和訳)：和田恵子，12，1219。

●海外レポート

空と海と若者たち——フィジーの青年海外協力隊員を訪ねて：三浦規，5，474。

●ブッツン看護婦物語：ドレーン花子と日本の看護をよくする会

こんなカンゴフがいるのかと思いつつ第1話，9，900。
 カミ様ホトケ様カンゴフ様と呼ばれたい第2話，10，1008。
 血と汗とナミダをしばらくきって第3話，11，1140。
 どちら様もお大事になさっての第4話，12，1244。

●グラフ

米国の在宅ケアサービス会社 RANN MED を訪ねて：村松静子，1，14。
 老人たちの再出発の場として——痴呆性老人専門治療病棟「リスタートホーム」，2，118。

長寿社会を迎えて，医療と福祉統合の拠点づくりをめざす——宮城県涌谷町「健康と福祉の丘」を訪ねて，3，222。

保健婦はプロフェッショナルのなんでも屋?!——長野県南佐久郡南牧村で地域のニーズを掘り起こす保健婦活動を行なう菊池智子さん，4，326。

病院あげての学生教育——慈恵青戸看護専門学校の体験学習プログラム，5，430。

「蒲郡眺海園」の生き生きケア——創設者・明石夫妻の遺志が息づく特別養護老人ホーム，6，534。

自分の健康は自分で守ろう——東京衛生病院健康教育部の様々な活動，7，638。

今，「呆け」介護家族の静かな叫びを聴け——「呆け老人をかかえる家族の会」結成10周年／手作りデイケアを「稲毛ホワイエ」にみる，8，742。

老健施設ニューウェーブ——大阪市おとしより健康センターの挑戦！，9，846。

地域に密着した総合的医療を展開する——病院と老人保健施設と看護学校とが三位一体になった八戸市のシルバー病院，10，950。

年に一度，看護を忘れる日——第31回千葉県下看護学校親睦体育大会，11，1054。

世界に差しのべよう，救いの手——第8回ET世界大会開かる，12，1158。

●SCOPE

東京・目黒に失禁クリニックがオープン，1，20。
 第27回日本癌治療学会総会に特別企画『癌看護に求めるもの』登場，1，21。

秋深し，看護婦も歩けば学会に当たる!?——どんどん広がっている院外学習の場，2，124。

手づくりの応援団——外口玉子さんを支援する「明日の医療と福祉をめざす会」が発足，3，228。

新たな時への旅立ち——国立療養所東埼玉病院附属准看護学校最後の卒業式と閉校式，6，540。

開かれた精神病院をめざして——民間精神病院のリーダーとして地域に根づいた医療を展開する八誠会守山荘病院，7，642。

10周年を迎えたストーマリハビリテーション講習会——20回の開催で1520名の受講者を育成，8，748。

看護界の日中交流——弘前大学で中国のナースが招待講演，9，852。

看護士をめざすわられは消防士——プレホスピタルケアを担うために看護士の資格を！，10，954。

高校生1日看護婦体験——立川相互病院にて，10，1006。

看護理論がやってきた——ロイ博士来日記念シンポジウム，京都で開かる，11，1060。

交流の絆を結んではや10年——今年で10年目を迎えた群馬大学医療技術短期大学部とSPU看護学部の国際交流，12，1162。

● PROFILE

- [Pat Ashworth] ICU 看護婦向け専門誌の編集長——「先進技術と人間の調和のため、看護の果たす役割は大きいのです」、1, 75.
- [落合美美子]新たに発足したりハビリテーション看護研究会の初代会長——「リハビリテーション看護はユニークで奥の深い分野です」、2, 179.
- [山本好子]尼崎私立病院協会婦長部会の会長——「これが尼崎の看護だというものを、何か残したいと思っています」、3, 285.
- [Alex Wright]オーストラリアの男性助産婦さん——「なんならミッドハズバンドと呼んでくださっても結構ですよ」、4, 389.
- [前原澄子]第22回 ICM 学術大会の会長を務める——「“学術大会”としたのは、それなりの理由があるのです」、5, 489.
- [早川和生]看護分野で初めて日本衛生学会奨励賞受賞——「看護の社会的地位を高めるため、もっと魅力ある職業にしていかなければ」、6, 593.
- [藤本エドワード]東京衛生病院で健康教育に取り組む——「健康作りは、自分の体への投資だと考えればいいでしょう」、7, 697.
- [山崎摩耶]訪問看護の現場から教育の現場へ——「時代の風と一緒に歩いてきたみたいよ!」、8, 801.
- [徳永瑞子]体験記が大賞受賞! 生命を見つめる国際派助産婦——「アフリカには、日本人が忘れてしまった生命への畏敬があるんです」、9, 903.
- [馬蔭楠]三たび来日した中国看護界の重鎮——「中国では、医師と看護婦の給料は同じなのです」、10, 1011.
- [Sister Callista Roy]適応システム理論を開発した看護理論家——「研究、執筆そして学生指導に忙しい毎日です」、11, 1115.
- [バーバラ イネス]リーダー育成に情熱を燃やす SPU 保健学部長——「私が学生に教えたいのは学び方です」、12, 1221.

● TOPICS

- 「看護診断」の行方——Guzzetta 女史に聞く: 2, 169.
- [共同インタビュー]玉子からどんな未来が生まれるか: 外口玉子, 6, 575.
- アメリカ白内障屈折矯正外科手術学会(ASCRS)に参加して: 稲毛久美子, 9, 888.
- バギオでの救援活動——フィリピン地震の国際緊急援助隊医療チームに参加して: 矢嶋和江, 11, 1094.
- 世界 ET 学会レポート: 前川厚子, 12, 1202.

● 言いたいフォーラム

- 患者さんがくれた贈り物: 稲見民江, 1, 102.
- 問われる管理者の能力: 三崎和子, 1, 102.
- ICN 学生大会に想う: 加藤麗華, 1, 103.
- すてきな表紙とカンゴ族: 小西恵子, 2, 206.
- 「ある母親の死」に思う: 宮崎真智子, 2, 206.

- 学生との距離がほどよくとれた日: 浅田昌古, 3, 310.
- 就転職に関する地方と都会の違い: 山本和子, 3, 311.
- 微笑み: 康紅, 訳/鈴木美恵子, 4, 414.
- 2月の衆議院選挙で考えたこと: 山田信子, 5, 518.
- ワットさんを見習い私もがんばる: 田中よし子, 6, 622.
- 「あけぼの会」パネルディスカッションから: 津田友子, 6, 622.
- 外来で患者から学ぶ: 大久保陽子, 6, 623.
- K さんとの出会い: 牛坂淳子, 7, 726.
- おもいっきり人生、共に人生: 鈴木和子, 7, 726.
- 新卒の看護婦を迎えて: 村上美幸, 7, 727.
- 今、自分の役割を見つめて: 木内優美, 8, 830.
- 老人性痴呆症の家族に暖かい目を向けて下さい: 大屋美穂子, 8, 830.
- 看護教育の見直しを: 森本加代子, 8, 831.
- 今日の担当は私です: 貴治聡子, 9, 934.
- 看護教育と看護師: 森本加代子, 9, 934.
- 父の入院で学んだこと: 江本孝子, 9, 935.
- 先輩をお手本として: 田島真紀子, 9, 935.
- NICU には騒音がいっぱい: 佐藤よし子, 10, 1038.
- 病棟の音: 長尾貞子, 10, 1038.
- 私!ただ今 32 歳: 緒方規子, 10, 1039.
- 看護婦は専門職と言われて: 高松美恵子, 11, 1142.
- ある入院患者さんの家族: 池知智津子, 11, 1142.
- 長いブランクの後、仕事に就いて: 佐藤満子, 11, 1143.
- 誰が子供をみてくれますか: 福田美子, 12, 1246.
- 何故、病院によって看護の質が違うのでしょうか: 土屋八千代, 12, 1246.
- やっと 4 年が過ぎました: 高橋亜矢子, 12, 1247.

● われらカンゴ族

- 青柳かくいさん、玲子さん、三好玲子さん, 1, 1.
- 仙波道子さん、渡部いさみさん, 2, 105.
- 板垣ハナ子さん、佐藤すず子さん、山田ナツイさん, 3, 209.
- 新保久美子さん、加代子さん, 4, 313.
- 吉田浩一さん、香さん、未来ちゃん、吉田紀章さん、孝子さん、美涼ちゃん, 5, 417.
- 蓮池清美さん、秀美さん, 6, 521.
- 吉川かねさん、さとみさん, 7, 625.
- 金田成子さん、富美子さん、智子さん, 8, 729.
- 徳永賢市さん、麗子さん, 9, 833.
- 対馬涼子さん、細谷昭子さん、中堀万喜子さん, 10, 937.
- 藤井美紀子さん、黒崎良子さん、藤原明子さん、深田理恵さん、片嶋知子さん、景山和子さん、田中千奈美さん、美佐子さん, 11, 1041.
- 渡部文江さん、田村元子さん, 12, 1145.